

3 歳児健診から見るむし歯の原因

【対象】

平成 24 年 4 月～27 年 3 月の期間中に 3 才児歯科健診を受診した児のうち、1 歳 6 か月児歯科健診でむし歯がなく、母親が妊婦歯科健診を受診した児 10753 名

【方法】

3 才児の歯科健診結果と問診よりむし歯の発生の有無との関連について統計的検討を行った

【結果】

むし歯の発生と関連があると考えられた項目（問診、健診結果項目より）

- ① 3 歳児健診より
 - ・間食時間を決めている
 - ・間食回数を決めている
 - ・夜の仕上げみがきをしている
 - ・フッ素入り歯磨剤を使っている
 - ・両親の喫煙
 - ・出生順位（第一子、第二子以降）
- ② 1 歳 6 か月児健診より
 - ・間食時間を決めている
 - ・間食回数を決めている（2 回以下）
 - ・仕上げみがきを毎日している
 - ・卒乳した
 - ・父、母の喫煙
- ③ 妊婦健診より
 - ・妊娠前の歯科治療がすすんでいる

これらの項目の中で、むし歯発生との関連が高かった項目

- 1 歳 6 か月児健診時の間食回数（3 回以上）
- 両親もしくはどちらかの喫煙
- 3 歳児健診時の間食時間（決まっていない）

子どものむし歯発生に直接的に関連するものと、両親の喫煙のように間接的に関連すると思われる項目が抽出された

子どものむし歯予防については、フッ化物の利用が有効である事は科学的にも証明されているところだが、それ以外にも、早い時期から、仕上げみがきをはじめとする規則正しい生活習慣の確立が望まれることが考えられた。